

令和3年4月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

4 月期の景況 DI 値は、業種により増減はあるものの、全体では 3 か月連続で好転し、新型コロナウイルス感染症の拡大により悪化し始めた昨年 2 月期の水準に戻っている。

しかしながら、多くの業界においては、全国で緊急事態宣言が発出された昨年 4 月よりは好転しているが、コロナ前の一昨年と比較すれば、売上等はまだ大きく減少しており、厳しい状況が続いているとの認識である。

こうした中、第 4 波と言われる新型コロナウイルス感染症の再拡大により、多くの都道府県に緊急事態宣言やまん延防止重点措置が発出されたことで、景気回復に対する期待感は遠のき、多くの業界が、売上の低迷、受注の減少による収益の確保が困難な状況が続くものと懸念している。

山口県の主要指標 DI 値 (令和 3 年 4 月末現在)

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況 (< 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 >)

前年同月比は、好転： 2.5% 悪化： 43.8% DI 値： ▲41.3% ポイント

売上高 (< 増加 > - < 減少 > = < DI 値 >)

前年同月比は、増加： 18.8% 減少： 32.5% DI 値： ▲13.7% ポイント

収益状況 (< 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 >)

前年同月比は、好転： 12.5% 悪化： 37.5% DI 値： ▲25.0% ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況) (令和 3 年 4 月末現在)

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲50.0	0.0	▲66.7	▲50.0	▲33.3	▲33.3	0.0	▲37.5
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス業	建設業	運輸業	その他	全 非 製造業
▲60.0	▲25.0	▲100.0	▲63.6	▲27.3	▲14.3	0.0	▲43.7
							

全 体

▲41.3



特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	業界全体において、前年4月より少しは好転していると思うが、前々年同月比では、まだ元には戻っていないと思われる。	調味料製造業
	鳥取で開催された山口物産展へ出店した組合員によると概ね好感触であったとのこと。しかし、緊急事態宣言の発出による「おいでませ山口館」の休館や、公共交通機関の利用者の減少などで、ゴールデンウィークの売上の期待が全くできない大変厳しい状況。	パン・菓子製造業 山陽小野田市
	新型コロナウイルスの影響下の売上は対前年同月比では80%以上増加しているが、前々年の同月比では10%位減少している。	パン・菓子製造業 下関市
	観光関連の売上は大幅に減少しており、前々年より売上が半分以下の商品もある。水産加工業では、原料価格の上昇に加え水揚げ量が大幅に減少し、将来について悲観的な雰囲気である。	水産食料品製造業 長門市
	ベトナム政府が日本からの帰国用の飛行機を手配し、ベトナムの送り出し機関が飛行機搭乗の手続き等を行ったおかげで、外国人技能実習生が数名帰国出来た。	水産食料品製造業 下関市
	新型コロナに限らず業界の第一の問題点は原料不足・原料の高騰にあり、幅広い事業拡大に至らない。量販向けの価格競争商品か富裕層向けの高級志向品の2極化で、その間は需要が厳しい。コロナ禍における今は、国等の経済支援を模索しながらの資金繰りが必須になることは否めない。この度も緊急事態宣言が発出され首都圏の店舗休業により、更に間接的にジワジワと売上が停まるのは不安でしかない。前々年と前年の売上対比は10%前後の減少だが本年度決算は前年度に対し30%の減少、前々年度に対しては35%の減少となった。非対面型の売上は多少上昇傾向にあるが、嗜好品という性質上から業態変換への道は考えにくいのが現状である。	
	4月は、新型コロナウイルスの蔓延に伴い緊急事態宣言が発令されるなど、前年に引き続き各種イベントが中止となった。屋外イベントについては、きちんとした防疫対策をとれば、クラスターの発生を抑えられるのに、科学的根拠の無い経済活動の制限については、今後行わないような措置が必要。ソーシャルディスタンスに基づく経営活動を遂行するための中小企業向けの支援対策を早急に充実させ、コロナの発生を抑え経済活動の回復を図ることが必要である。飲食店の時短要請などにより、関連食材の売り上げも激減し、特に	精穀・製粉業

	山口県の日本酒メーカーの売り上げ減少が酒米の買い控えというところにつながっており、影響が多岐に広がっている。	
繊維工業	中国人技能実習生4名が帰国。(特定活動) 現在実習生人員は、中国人22名、ベトナム人26名の合計48名。新型コロナウイルス感染拡大中ではあるが、ベトナム人技能実習生(3号)5名の入国審査中である。新規については、リモートでの面談を実施している、日本での新型コロナウイルス感染者数が多い為、募集しても人数が揃わない状況が続いている。新型コロナウイルス収束までは難しいと思え、事業への影響を懸念している。	下着類製造業
	前年4月と変わらない状況。	外衣・シャツ製造業 山口市
木材・木製品	木材の高騰により大変な状況となっている。日割りで価格が上昇する上、注文してもいつ入荷するかが未定の状況。この状況がいつ改善されるのか、このままでは売るのがなくなり商売として成り立たない。	製材業・木製品製造業 岩国市
	4月の売上は、前々年同月比10%~30%減少、組合員平均20%減少。前年同月比2~20%減少、組合員平均10%減少とバラつきが有る。販売価格については、これまで変動があまりなかったが、4月は上昇傾向で推移している。	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	新型コロナウイルスに翻弄された1年が経過し、新年度となったが、状況としては前年と比較しても大きな変化はない。前年のこの時期は緊急事態宣言が発出されており、経済の停滞を肌で感じたが、それに比べ今年慣れもあると思われるが、そこまでの停滞感はないというのが実感である。ただ変異種の蔓延等の不安要素は多い。印刷業界が3月の年度末を超え閑散期に入っていくことに加え、ワクチン接種の遅れや変異種の流行等で、イベント等の中止、延期や規模縮小等は引き続き予想される。また、オリンピックの開催も流動的であり、開催されたとしても従来通りとはならず、開催方法の変更は避けられないため、業界への影響は大きいと予想されることから、今後は状況を注視しながら適切な対応をする必要がある。	印刷 下関市
	年度初めの受注は新型コロナの影響で落ち込み始めた前年と同様で、大きな変化はなかった。今後もイベント等の中止や縮小は続きそうで、景気の回復は見えてこない。	印刷 山口市
窯業・土石製品	出荷量は、 (令和2年4月)骨材 98%、路盤材 89%、再生材 109% ↓ (令和3年4月)骨材 116%、路盤材 90%、再生材 103%	砕石製造業

	3月の売上は、前々年同月比 83%、前年同月比 89.5%。年間の累計では、前々年 74.8%、前年 64.5%。競争が激しくなり受注が減少傾向である。	セメント・同製品製造業 山口市
	出荷量は、前月比 121%、前年同月比 103%。現時点のセメント・骨材等の資材調達では、特に問題は生じていない。生コン販売価格は安定している。	生コンクリート製造業 山口市
	当組合の各事業所では受注が安定している模様。お墓の移転・撤去ではなく、新規作製依頼が増えている。	石工品製造業
	前年4月の市内小売店売上は、休業や時短営業もあって前々年同月と比べ 50~90%減少していたが、今年4月の売上は、前年4月と比べて 200~500%と大きくアップし、前々年同月レベルまで回復してきている。3/26から萩市宿泊で「萩にゃんお得にゃ観光クーポン」2,000円分の配布も始まり、市内販売店や窯元での売上に貢献している。百貨店や大都市の小売店、ギフト関連の受注（卸販売）は前年同月と比べ 150%~180%となっている。インターネットでの販売では、サイトの内容や出品数を充実させたり、SNSのフォロワーを増やすことで閲覧数を伸ばしている事業所は、売上が大きく伸ばしている。	陶磁器・同関連 製品製造業
一般機器	新型コロナウイルスの影響で、外国人技能実習生の面接が出来ず、引き続きリモート面接に変更し対応している。	一般機械器具製造業 岩国市
	4月は例年と変わらず、スロースタートな年度始まりの組合員が大半であった。5月は、周南コンビナート地域が大型定期補修の時期に入るため、期待が出来る。	一般機械器具製造業 下松市
	組合員企業の部署によっては、残業があまりないところもある。	一般機械器具製造業 周南市
	県内で新型コロナウイルスの感染者が再び増加しており、街に活気がなくなっている。組合員の営業活動状況には温度差がある。中国と取引のある組合員は、追加工事を受注したが、物流の動きが悪化し、製造が中断している。自動車メーカーは先日の半導体大手の火災の影響で車の減産に転じ、下請けの組合員は受注が減少している。自動車金型関係及び建設業関係の組合員は、受注が順調で夏頃まで続く見通し。	一般機械器具製造業 防府市
	外国人の入国が出来なくなり、人手不足から残業が増加するとともに事業継続に支障が出てきており、入国制限の早期解除が望まれるところである。特定技能への切り替えにより都市部の企業への転籍、また、若干ではあるが帰国者も出てきており、人員の確保に苦慮している。なお、大半の、帰国困難者については、特定技能、特定活動への在留許可の切り替えにより対処しているがこの状況が長引くと、モチベーションの維持が難しくトラブルの発生につながる事が懸念され	一般機械器具製造業 宇部市

	る。	
	現状は良くも悪くもなく、ワクチンの普及が進む今年の秋頃まで、一進一退の状況が続く見通し。	
輸送機器	鉄道車両関係の受注は概ね2年先までの生産予定はあるが、世界的なコロナ禍の状況により減少も見込まれる。国内車両関係でも、受注の取り止め・先送り・減産等々コロナ禍の影響が予想される。半導体は当初の予定より多少受注が減少している。新型コロナウイルス感染による取引各社の操業度の落ち込みや緊急事態宣言地域への出張が出来ないことで、受注の落ち込みとなることが懸念される。	鉄道車両・同部品製造業
卸売業	倉庫収益は前年同月比でほぼ横ばいだが、コロナウイルスの影響を受けている外食産業関連の入在庫(特に入庫)の減少が見受けられる。	乾物卸売業
	天然、養殖ともに魚の入荷が少ない。	生鮮・魚介卸売業
	コロナウイルス感染症も2波、3波と乗り切ったが、4波と言われる感染の拡大傾向で、売上が減少しており、収益の確保が厳しい。	各種商品卸売業
小売業	暖かくなり、「日焼け止め」や「収れん化粧水」などの夏の化粧品が売れてくるようになった。売上は新型コロナウイルスの緊急事態宣言下の前年同月より微増の店舗が多い。コロナ禍前より実施されていた大手メーカーのネット販売も高級カウンセリングブランドにまで及び、若い人の客離れが起きていて不満に思う組合員も多く、メーカーとの間の共存共栄は失われつつあるように思われる。	化粧品小売業
	コロナ禍の前年同月と特に大きな変動はない。	農業用機械器具小売業
	家電の売上は前年同月比で90%程度。イベントも実施できず、更に来客数も減少している。今後は夏の商戦に向け、各組合員とも自店での展示会等に期待している。	機械器具小売業
	前年4月は緊急事態宣言の発出による新型コロナウイルスの影響が大きかったため、前年同月比では約103%の売上げ増加となった。ただし、前々年同月比では60%と減少。前年同月よりは好転しているが、収益状況はよろしくない。共通駐車サービス券の販売は例年より少し減少。ホール売上は微増であった。	各種商品小売業 岩国市
	3月の店舗売上合計は対前年同月比+15.5%と大幅に伸びた。穏やかな天候もあり、河津桜の効果や萩椿祭りなどで県内他市町や隣接県からのお客様が増加した。前年度は4/25~5/7日をコロナ感染防止対策のため臨時休館としたため、4月の売上は前年比で大きく回復しており、4/25時点、平常時とほぼイーブンの売	各種商品小売業 萩市

	<p>上で推移している。今年のゴールデンウィークに関しては、県外観光客が動かないため、平年の 2/3 程度の売上を想定している。感染防止対策として大型ルーフファンの 3 基交換設置やエントランスに体温測定器を 2ヶ所設置した。</p>	
	<p>売上は前年同月比で 84.5%。新型コロナウイルスが拡大しつつあるが、4/28 の来客は多かった。</p>	<p>各種商品小売業 下関市</p>
商店街	<p>依然としてコロナ禍の影響は続いている。首都圏では緊急事態宣言が発出されるなど、地方都市へおける影響は甚大。飲食店の疲弊は激しく、連休明けまでもたない店も見られる。一般小売業も、人の移動が制限されると購買欲求が失われ、多くの業界、業態で低迷している。ファッションアパレル小売に限っては、展示会で上京することも憚られ、半年後の仕入れにも影響が及んでしまう。行政等による支援策に頼るしかない市況が続く。</p>	<p>岩国市</p>
	<p>新型コロナウイルスの状況が再び悪化し始め、先行きが不透明になりつつあるが、商店街としては出店の話もあり、とりあえず安定している。</p>	<p>宇部市</p>
	<p>4 月は卒業入学があり、人の出入りがある。コロナ疲れでの人も多少あるように思われる。「飲食や生鮮食品は前年と比べて 20%のお客が戻って来ているが、商店街全体ではそこまでではないように思う。」と話す組合員もある。</p>	<p>萩市</p>
	<p>当地区にも新型コロナウイルスが広まっており、商店街の来客数が激減している。今年度のイベントも開催が厳しい状況である。</p>	<p>下関市</p>
サービス業	<p>新型コロナウイルス第 4 波が押し寄せ、どの地域も休校や出勤停止があり、前年 4 月並みにキャンセルのお客が増加。変異ウイルスの出現で感染力が高まったこともあり、美容師の感染もみられ全体的に停滞気味である。</p>	<p>美容業</p>
	<p>新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、感染症への対策を進めているが、依然として厳しい状況。</p>	<p>理容業</p>
	<p>令和 2 年度自動車の新車・新規台数及び継続検査台数の年度統計が出そろった。新車・新規台数は、対前年比では可成り持ち直してきているものの、令和元年度は消費税増税による影響を受けていることから令和元年度比較ではあまり参考にならないため、30 年度と比較してみると 4.3%程度低くなっており、新車販売は厳しい状況。また、継続検査台数は、9 月まで対前年度比でマイナス推移していたものの、10 月から持ち直し結果的に年度末の対前年度比較ではプラスをキープしている。整備業界にとっては明るいニュースとなっ</p>	<p>自動車整備業</p>

	た。	
	新型コロナウイルスで大変な状況。緊急事態宣言の影響は大きい。	スポーツ・健康教授業
	4月の売上を心配していただが、前年同月比で約40%増のコロナ禍前くらいの売上に戻り、組合員も売上好調なところも少なくないようで一安心である。しかし、一部売上がコロナ禍であった前年とそこまで変わっていない組合員もあるようで、業界内で差が出てきたように感じる。このまま繁忙期の6月いっぱいまで、この売上ペースを保ちたいところである。	普通洗濯業
	前年のゴールデンウィークは、新型コロナウイルス感染拡大での営業自粛要請を受けてお店を閉めていたが、現在も山口県内の感染が増加傾向であり、いつまで続くのかとため息がでる想いである。一日も早いワクチン接種の実施と新型コロナウイルスの収束を願っている。	飲食業
	前年4月が壊滅的だったため前年同月比では増加したが、前々年同月比では10%程度と売上が激減した。	旅行業
	前年4月と比べ、売上336.6%。宿泊人員287.3%となったが、新型コロナウイルス感染の影響のなかった前々年4月と比べると、売上49%、宿泊人員56.8%と非常に厳しい状況が続いている。コロナ禍の令和2年との比較はナンセンス。	旅館業 山口市
	前年はコロナ感染症により売上高、入浴者数とも激減したが、今年4月は対前年同月比で売上高36%、入浴者数は50%の増加となったが、前々年4月と比べると30%の減少となっている。近県の新型コロナウイルスの感染拡大により、観光客の増加は見込めず、資金繰りの改善には程遠い状況となっている。	旅館業 長門市
	緊急事態宣言発出・蔓延防止等重点措置の指定された地区もあり、キャンセルが発生している。先行きが全く見えない状況。雇用調整助成金の終了後が不安である。	旅館業 下関市
建設業	中電への工事申請140件（当支部128件）、前年同月113件（同96件）。太陽光発電への申請24件（前年23件）、オール電化申請71件（前年54件）。LED街路灯への切り替え・新設申請12件（前年11件）であった。	電気工事業
	近年、建設業専門工事業者の抱える技能者は大きく減少しているが、減少した状態であるのに技能者がだぶつく状態となっている。コロナ禍での工事の減少に加え、施工方法の簡素化により現場で必要とされる技能者数が減っている。	左官業

	新型コロナウイルス関連の影響はほとんどないが、前年と違い4月分の入札件数が少なく、少し不安に思っている。5月以降の発注に期待をしている。	管工事業
	コロナウイルスの感染拡大が収束せず、3度目の緊急事態宣言が4都府県に発出され、経済への急激なマイナス影響が懸念されている。変異ウイルスの感染拡大も強く懸念されており、当地域においても、春のイベントが引き続き中止や規模縮小するなど、この春には従前に戻るだろうという期待も萎んでいる。またワクチン接種に関しても政府の当初のスケジュールが何度も訂正されるなど、国民の政府への信頼が薄れてきている。土木関連では、県の経済対策の牽引施策で、継続事業を含め、新年度の事業発注も順調と思われるが、当初予算で比較すると、厳しい。近年は災害が甚大化しており、未然にあるいは減災化をするために国土強靱化の方向性が示されており、当地域の土壌、地勢なども考慮した予算措置を今後も要請したいと思う。特に圃場整備に関しては、歩掛りが厳しく、採算性に欠けることが多々あるようで改善を求めたい。	土木工事業 柳井市
	3年4月の受注高は、対前年同月比 79.6%。今年度の累計では、対前年比 97.9%。	土木工事業 萩市
	公共工事は、上半期の稼働が少なく下半期に集中しており、働き方改革に取り組むためにも、経営の安全化・健全化のためにも、施工時期の平準化が重要である。	土木工事業 長門市
	連休前に一時的に新築物件が増加したが、連休や天候不順等で稼働日数が少なく、完工高は横ばいである。	瓦工事業
	公共・民間工事ともに希薄な状況で小規模物件を複数こなして仕事を確保している。材料の値上げなど今後の見通しも不透明で懸念も多いが、各社前向きな対応に努めている。	鉄骨・鉄筋工事業
	新型コロナウイルスの影響で売上が減少。	内装工事業
運輸業	輸送関係は今年度初の出荷量は対前年比で約 0.6%強の減少。国内向け出荷量は下降傾向で、輸出量がやや上昇している。燃料費は2円値上げ。中小輸送業の経営は弱体化しつつあり、運送業者には月毎の値上げは大きな痛手となる。せめて引軽油引取税の減額を望む。	一般貨物自動車運送業 下松市
	輸送取扱高については対前年比 20%程度の増加の見通し。半導体の供給不足等により自動車関連については操業調整が続いているが、前年は新型コロナウイルスの影響で操業停止の時期で、更に悪い状況であったに過ぎない。平年と比べると、依然 30%程度の落ち込み状況にあり、今後の回復見通しは立っていない。	一般貨物自動車運送業 防府市

	<p>荷動きは横ばいといった感じだが、倉庫保管案件がかなり増えてきている。特に薬品関係は保管・輸送・作業請負等の複合的な新規案件も多い。それに伴って人員確保も必要となってくるが、このところ応募も多く、何とか充足している状況である。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 宇部市</p>
	<p>タクシーチケットの取扱い金額（税込み）は、前年比＋2.2%（令和3年3月1日～令和3年4月20日分）。3月1日～31日分は▲10.4%、4月1日～20日分は＋38.3%。前年度分がコロナで大幅に落ち込んだため、前年比は不変にしたが、前々年度比はそれぞれ▲38.6%、▲48.5%。当組合の取扱いタクシー事業者は、光市，下松市，周南市，防府市の地域。3月分については、周南▲7.4%，下松▲19.8%，光＋1.2%，防府市地区が△5.5%で、組合員の全域では▲8.0%、地区外（員外）▲30.3%、合計▲10.4% ▲1,334 千円）。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動する。CPが下がり（前月590.0\$/トンが今月562.2\$/トン、前年360.0\$/トン）、輸送用バンカーC重油は上がり（前月518.0\$/トンが今月533.0\$/トン、前年342.0\$/トン）。為替は円安（前月106.37円/\$が109.63円/\$）。燃料単価は前月▲1円/ℓ（▲1.3%）となった。前年4月大幅に下がった事もあり、前年比＋21%となり、収入が落ちている中で大変厳しい状況。タクシー乗務員は労働条件が厳しい（賃金が少ない）事もあって慢性的に不足しており、人員不足もあって車両の稼働率は大幅に下がっている。現金利用の多い個人利用客はもう少し良いようだが、法人利用の多い当組合のチケットでは、出張移動や会合などの自粛により、厳しい状況。コロナの自粛疲れもあり、少し利用客が戻りつつあったが、再度クラスターの発生で、急激に減少しているようである。オリンピックの聖火リレーも良いが、ワクチン接種をもっと優先すべきだと思う。たいへん厳しい状態が続いている。</p>	<p>一般旅客自動車運送業</p>
	<p>新型コロナウイルスの影響は、令和元年度と比べると若干の取扱高の減少がある一方で、令和2年度途中から新たな荷役の取扱いも始まったことにより相殺される形で、令和3年4月の取扱高も対前年同月比で、ほぼ同じ取扱高となっている。</p>	<p>港湾運送業 小野田市</p>
<p>その他</p>	<p>新型コロナウイルスの影響により、外国人技能実習生が入国待ちの状況が続いている。</p>	<p>介護事業</p>